

蛍光灯からLEDに変更するときの注意点

～2027年末で蛍光灯の製造・輸出入が禁止されます～

みなさん、ご存じですか？

2027年末までにすべての一般照明用蛍光灯についての製造・輸出入が禁止されます。今後、LED照明への切り替えがさらに加速すると予想されますが、交換方法を誤ると火災の原因にもなり大変危険です。

■ LED照明への切り替え・2つの方法

① 照明器具ごと交換する方法(推奨)

・器具自体を新しくするため、安全性・省エネ性能ともに高くなります。

② 既設の照明器具はそのまま蛍光灯のみを交換する方法

・手軽ですが、器具とランプの組み合わせを誤ると火災や破損事故を招く恐れがあります。

■ 事故を防ぐための3つのポイント

ご自身でランプ交換を行う際は、次の点にご注意ください。

① 器具の点灯方式に合ったLEDランプを選ぶ

・蛍光灯には「スタータ型」「ラビットスタート型」「インバータ型」などがあり、不一致は異常発熱や発火の原因となります。

② パッケージ・説明書を確認する。

・対応器具や注意事項を必ず確認してください。

③ 点灯後の状態を確認する。

・交換直後だけでなく、チラつきや異音がないか確認してください。

■ 古い器具をそのまま使い続けるリスク

『LEDランプに交換すれば、ずっと使える』は間違いです。

既存の器具をそのまま使う場合、外観に異常がなくても内部の電気部品が劣化し、発煙・発火につながるおそれがあります。

交換の目安は10年です

設置から10年を超えている場合は、安全のため器具ごとLED照明への交換を検討しましょう。

蛍光灯→LED ランプ交換時の3つのポイント



1 点灯方式は？

器具とランプの点灯方式が合っているか確認しましょう

2 注意事項は？

取扱説明書の注意事項を守って作業しましょう

3 異常はない？

ちらつきなどの異常がないか確認しましょう

「照明器具ごと交換」なら迷う心配ナシ！

▲このような配線器具があれば自分で簡単に交換作業できます

nite

安全とあなたの未来を支えます
National Institute of Technology and Evaluation
独立行政法人 製品評価技術基盤機構

引用：独立行政法人 製品評価技術基盤機構

<https://www.nite.go.jp/>

古い「蛍光灯器具」に注意!



※再燃試験のためカバーを外しています。

見た目はピカピカ、中身は劣化



劣化した電気部品(安定器)
(国産球管・一般社団法人日本照明工業会)



『ランプだけLEDにすればずっと使える』は間違い!
蛍光灯器具は単なる「ランプの取付台」ではなく「電気製品」です。

使用期間 10 年を目安に、器具ごとLED照明への交換を検討しましょう!



安全とあなたの未来を支えます
National Institute of Technology and Evaluation
独立行政法人 製品評価技術基盤機構

引用：独立行政法人 製品評価技術基盤機構

<https://www.nite.go.jp/>